

1. 事業説明シート

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]	事業箇所	甲府市伊勢	地区名	国道358号 (遠光寺北交差点)	事業主体	山梨県
-----	------------------------	------	-------	-----	---------------------	------	-----

(1) 事業の概要

①課題・背景

国道358号は、富士河口湖町を起点とし、甲府市中心部に至る幹線道路であり、甲府市街地と郡内地方の生活圏の連絡及び県内外の物流・観光振興に寄与するとともに、災害時における第一次緊急輸送道路の役割を担う重要な道路である。

遠光寺北交差点は、甲府市街地南北及び東西方向の交通流の結節点であり、朝夕の通勤時間帯には交通が集中し渋滞長が最大650m (実測) になる等、著しい交通渋滞が発生しているため、道路改良を早期に進める必要がある。

②整備目標・効果

□主要目標 ○生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上
 混雑時走行速度：26.9km/h < 30km/h 以下※
 自動車交通量：16,036台/12h > 3,314台/12h (平日) 以上※ ※評価基準値

□副次目標 ○災害に強い道路の確保
 危険度・損傷度：なし
 緊急輸送道路の指定：指定あり (第1次緊急輸送道路)
 自動車交通量：16,036台/12h > 3,314台/12h (平日) 以上※ ※評価基準値

□副次効果 ○主要渋滞ポイントの解消
 (通過に5分以上を要する等、著しい渋滞が発生している交差点の解消もしくは大幅な改善)
 ○走行安全性の確保
 (死傷事故率：525.7件/億台km > 100件/億台km 以上※ 評価基準値)

③目標達成の方法

下り車線 (甲府駅方面) 直進車線数の増
 現行：1車線 → 改良後：2車線

(2) 整備内容

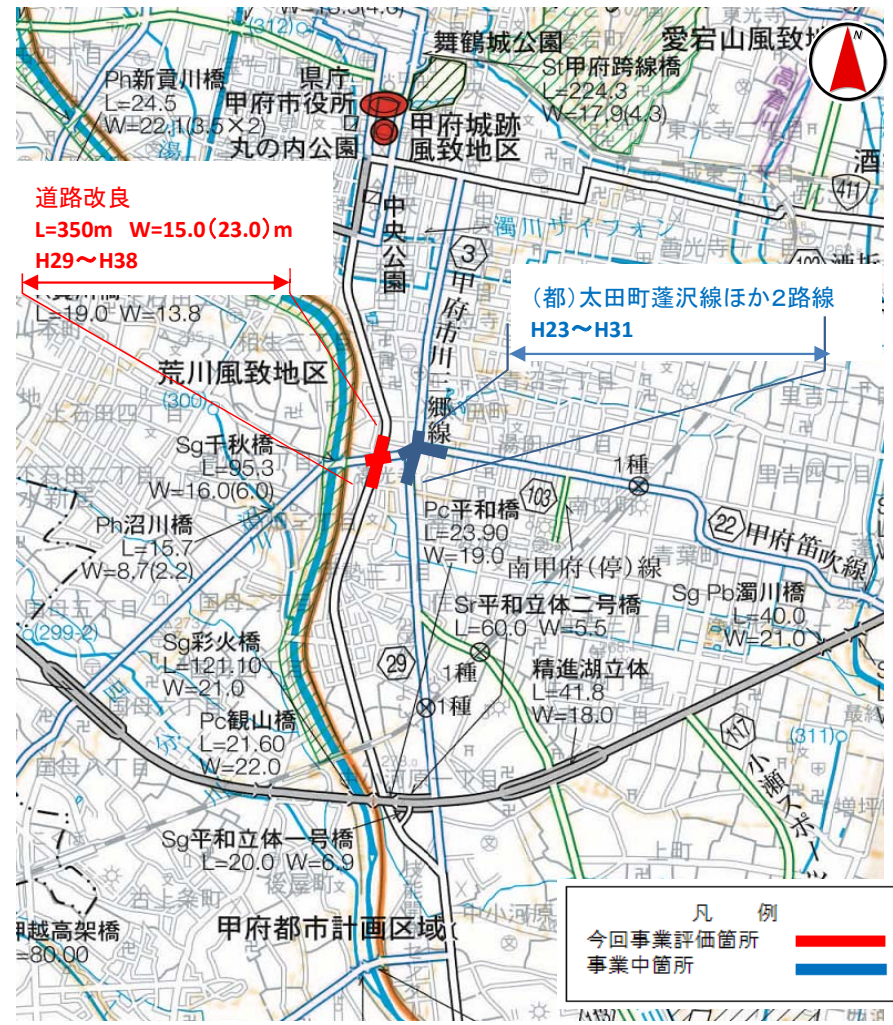
①整備内容	道路改良 L=350m W=15.0(23.0)m
②着手年度	平成29年度
③完成見込年度	平成38年度
④総事業費	約2,000百万円 (国費1,188百万円 (5.94/10) 県費812百万円 (4.06/10))
⑤年度別の整備内容	(事業費)
平成29年	測量・設計 20 百万円
平成30年	設計・用地測量 50 百万円
平成31年	用地調査・用地取得 120 百万円
平成32年	用地取得 200 百万円
平成33年	用地取得 300 百万円
平成34年	用地取得 300 百万円
平成35年	用地取得・道路改良工事 300 百万円
平成36年	道路改良工事 200 百万円
平成37年	道路改良工事 300 百万円
平成38年	道路改良工事 210 百万円

□既整備内容・期間・事業費
 (都) 太田町蓬沢線ほか2路線
 平成23年度～平成31年度 総事業費 3,660百万円

(3) 中・長期計画等の位置付け

- ・「ダイナミックやまなし総合計画」(平成27年12月)
- ・「山梨県強靱化計画」(平成27年12月)
- ・「山梨県社会資本整備重点計画-第三次-」(平成27年12月)
- ・「リニア環境未来都市整備方針」(平成29年3月)
- ・「山梨県バス交通ネットワーク再生計画」(平成29年3月)

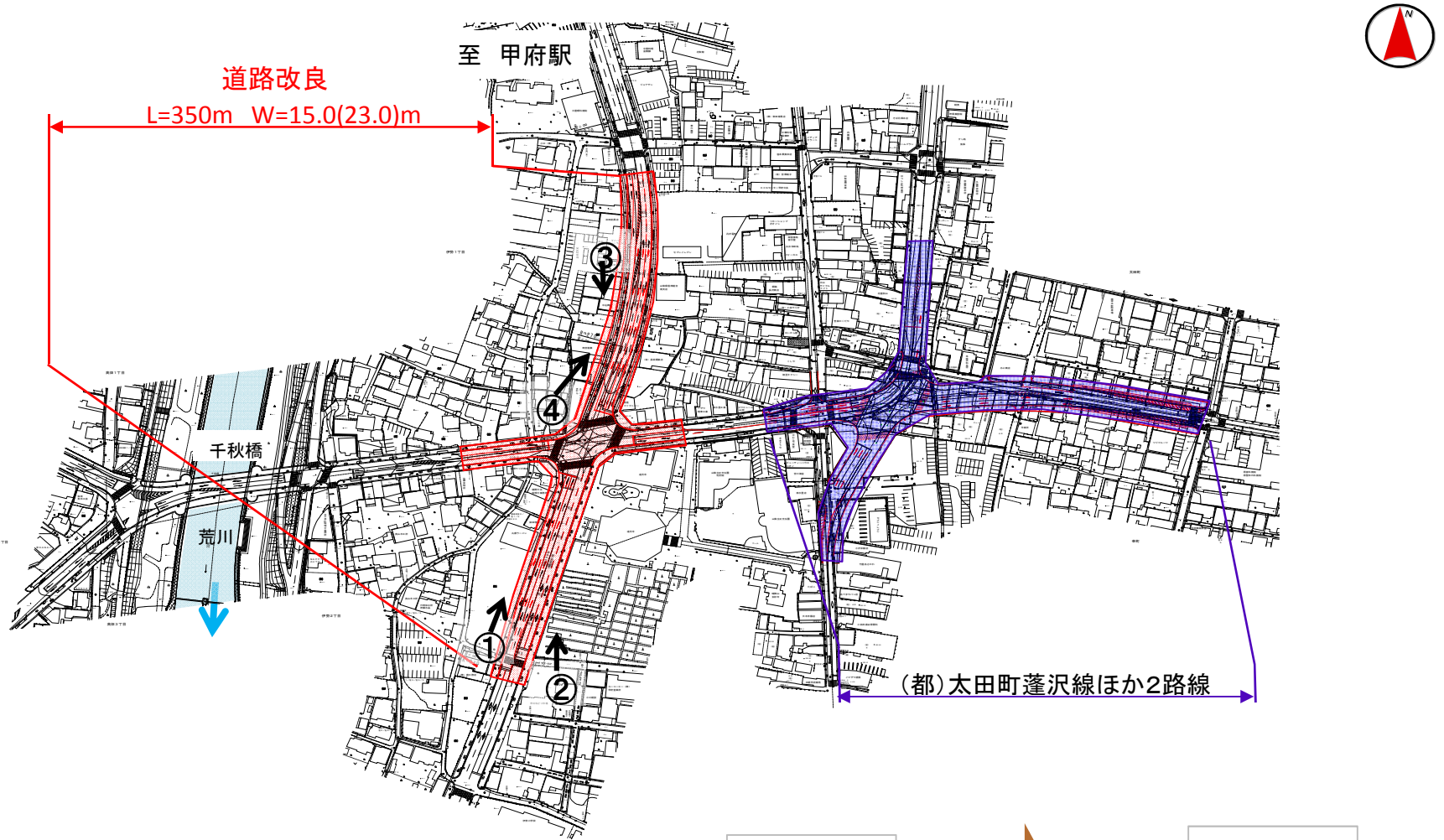
(4) 事業位置等図



2. 評価シート

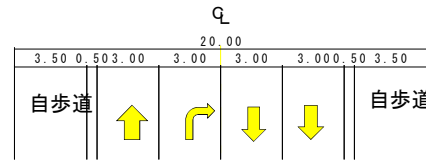
(1) 公共関与の妥当性 （行政が行うべき事業か） <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない	(5) 整備手法の有効性 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない
(理由) 本路線は甲府中心部へ接続する主要幹線道路であり、社会的受益は大きく極めて公共性が高い。	(理由) 西側のみ拡幅を計画することにより、地域への負担をなるべく少なくし、最も経済的な計画とした。
(2) 事業執行主体の妥当性 （県が行うべきか） <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない	<input type="checkbox"/> 他の整備手法の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
(理由) 本路線は、県管理国道であり道路法第12条の規定により県が実施すべき事業である。	(状況)
(3) 経済効率性 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない	
(理由) ・費用(C)=15.06億円（内訳）改築費 14.7億円 維持管理費 0.36億円 ・便益(B)=36.8億円（内訳）走行時間短縮 28.42億円 走行経費減少 5.45億円 交通事故減少 0.48億円 追加便益 2.45億円 ・費用便益比(B/C)=2.4 費用便益比(B/C)は国の採択基準1.0を超えている。	(6) 環境負荷への配慮 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない (理由) ・本事業箇所は市街化された区域であり、自然環境への影響は少ない。 ・本事業を実施することで渋滞が解消されるため、排気ガス中の大気汚染物質が軽減する。
(4) 事業実施・規模の妥当性 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない	
(理由) 朝夕の通勤時間帯を中心に慢性的に発生している渋滞を解消するため、現況交差点を中心とした現道拡幅改良計画とした。 <input type="checkbox"/> 同等施設等(計画を含む)の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 (状況) <input type="checkbox"/> 必要整備内容の根拠 (状況) 整備区間は遠光寺北交差点前後において、下り車線が2車線から1車線に縮小されている区間であり、交通のボトルネックとなっているのを解消するのに必要な区間長とした。幅員等規格は道路構造令による。	(7) 事業計画の熟度 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない (理由) 平成29年3月に策定された「リニア環境未来都市整備方針」「山梨県バス交通ネットワーク再生計画」において、リニア駅と甲府駅を結ぶ国道358号の速達性・定時性の向上を求められており、リニア中央新幹線開業までに本区間の整備を完了する必要がある。 また、本事業箇所は主要渋滞箇所であり、この解消に県民からの期待は高い。 《総合評価》 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない (理由) 7項目全て妥当と評価されていることから、実施が妥当と判断する。

3. 添付資料シート (1)

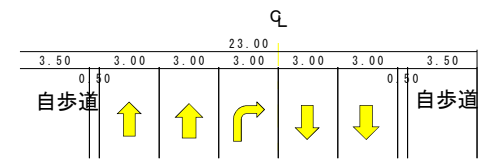


至 甲府南IC

標準横断面
(整備前)



標準横断面



① 遠光寺北交差点南側北進方向



② 遠光寺北交差点南側右折レーン滞留状



③ 遠光寺北交差点北側南進方向



④ 遠光寺北交差点北側右折レーン渋滞状況

